

## 「市立幼稚園・保育所のあり方について」に関する説明会議事録

日 時	平成29年7月18日(火) 10:30~11:10	
場 所	宮川幼稚園	
出 席 者	教育長 教育委員会管理部長 教育委員会管理部管理課長 教育委員会学校教育部主幹 こども・健康部子育て推進課長 こども・健康部主幹子育て施設担当	福岡 憲助 岸田 太 山川 範 中塚 景子 伊藤 浩一 長岡 良徳
事 務 局	教育委員会管理部管理課	
参 加 者 数	9人	

### 1 次第

- (1) 開会
- (2) 説明
- (3) 質疑応答
- (4) 閉会

### 2 配布資料

当日配布資料

### 3 議事録

(教育長) 本日はお忙しい中、説明会にご参加いただきましてありがとうございます。す。

さて、本年2月に市立幼稚園と保育所のあり方についての方向性をお示ししました。前回の説明会では、皆様からなぜ宮川幼稚園がなくなるのか、まだまだたくさんのお子どもたちが来ているのにとの思いから、たくさんのご意見を聞かせていただきました。幼稚園のほか、地域、保育所でも説明会を開催いたしましたが、新浜保育所、宮川幼稚園と伊勢幼稚園の3つの公立施設を統合して、西蔵に認定こども園を建設するということに対して、地域の皆様からもいろんなご意見を頂戴しました。各団体、市議会議員の皆様からもお申し出をいただき、それを受けまして、再度検討を行い、この西蔵の認定こども園に関することを含め、あり方の一部を変更いたしました。6月の時点では、西蔵の認定こども園についての詳細までは、十分お示しできていない状況にありましたので、7月にその詳細をお示した次第です。本日は、その部分に関しまして、皆様にご説明させていただき

ます。これにつきまして、皆様の思いをお聞かせいただければと思います。限られた時間ではございますが、よろしく願いいたします。

(事務局山川) それでは早速、今回のあり方の一部変更の説明をさせていただきます。

これまでの経過について簡単に御説明させていただきますと、まず、2月13日に幼稚園、保育所のあり方を公表させていただきました。大まかに申し上げますと、市立幼稚園は現行8園ございますが、8園を4園に、市立の保育所は6所から2所に、そして、新たに市立の認定こども園を2園新設するといったものでございます。

2月時点でのお話になりますが、宮川幼稚園、伊勢幼稚園、新浜保育所の2園1所を統合して、西蔵町の市営住宅跡地に市立の認定こども園を、250人から300人規模で行いたいと考えてございました。2月に公表させていただいた後、先ほど教育長からもお話がございましたが、保護者の皆様、地域の皆様に対しまして、合計34回の説明会を開催し、ご説明申し上げましたが、そこで、さまざまな御意見をいただきました。また、各団体、市議会議員からのお申入れもございまして、このあり方をさらにより良くするよう、このたびあり方の一部を変更させていただいたものでございます。

本日の資料の6月13日公表分にありますとおり、大きく3点を見直してございます。3番にあります西蔵町の市営住宅跡地の認定こども園につきましては、6月の公表時点では定員規模について縮小を検討するとしておりましたが、具体的に定員数までのお示しはできておりませんでしたので、この下に載っております7月11日公表分において、より詳細なものをお示ししたということでございます。

まず、6月13日公表分の1番ですが、山手圏域における保育定員の確保について、朝日ヶ丘幼稚園を平成32年3月に閉園いたしますので、その敷地を利用して、跡地に私立の認定こども園を誘致し、平成33年4月を目途に開園するものでございます。

2点目といたしましては、市立打出保育所ですが、当初2月にあり方を公表した時点では、民間移管の時期を平成31年4月としておりましたが、これを3年ずらし、平成34年4月に民間移管するとしたものでございます。

そして、3点目といたしまして、先ほど申し上げました西蔵の認定こども園について、当初は宮川幼稚園、伊勢幼稚園、新浜保育所の2園1所とする統合で、定員を250人から300人規模とすることで進めていきたいと考えておりましたが、現在、本市の就学前施設で300人規模の施設がないこと、浜風幼稚園跡地や南芦屋浜で来年4月に開園を予定している

私立の認定こども園の定員規模が200人程度であること、また、300人規模の認定こども園では、例えば感染症が起きたときに対する御心配や、津波が起きた際の避難についての御不安の声を頂戴したこともございまして、この資料の後半部分に記載しておりますが、7月11日公表分で、定員規模につきましては186名、内訳を申し上げますと、1号認定こどもである幼稚園部分の子どもさんの定員を90名、2号、3号認定こどもである保育所部分の子どもさんの定員を96名にすることで考えております。

元々は、300人規模の3施設の統合という形で考えておりましたが、186人となりますので、宮川幼稚園をこの統合の枠組みから外させていただいて、伊勢幼稚園と新浜保育所の1園1所の統合という形にいたします。よって、宮川幼稚園については、引き続き公立幼稚園として運営を行っていくものでございます。また、記載のとおり、西蔵の認定こども園において、子育て支援施設も併設してまいります。

西蔵の認定こども園の定員規模を縮小したことに伴いまして、当初想定しておりました子どもさんの数までを受け入れることは出来なくなりますので、2番目に書いてございますように、伊勢幼稚園の跡地に定員150人程度の民間の認定こども園を誘致いたします。開園時期は、平成33年4月を予定しております。

今回の見直しにより、公立幼稚園については、宮川幼稚園を引き続き公立幼稚園として運営していきますので、8園から5園体制ということになります。

こちらの伊勢幼稚園の敷地につきましては、平成33年3月末で閉園になりますので、その時点で通っておられる4歳児のお子さんについては、年長になられるタイミングで、西蔵の認定こども園に移っていただき、幼稚園生活の残りの1年をお過ごしいただく形になります。

伊勢幼稚園の場所につきましては、平成33年3月末で閉園後、新しい認定こども園に建替え、1年後の平成34年4月に私立の認定こども園としての運営を開始する予定で考えておりますので、この地域で幼稚園に行かせるのに、どこも行き場がないということはございませんので、御安心いただければと思います。

今回の一部変更の内容につきましては、以上でございます。今回の説明内容でも構いませんし、その他、気になられていることなど、御意見をお伺いできればと思います。

(保護者) 1番下の子どもですが、西蔵の認定こども園が開園した時にちょうど

5歳児になりますので、お話をお伺いに来ました。

宮川幼稚園が残るのはすごくうれしいんですけども、認定こども園は3歳児から入園できますよね。宮川幼稚園は小学校とも隣接しているし、プールも使わせてもらえて、すごくいい条件が揃っていると思います。上のお兄ちゃんが幼稚園に通っているときは、各年齢3クラスずつあったんですけども、今は2クラスずつになっていて、部屋も余っている状況になってるじゃないですか。こうした状況で、宮川幼稚園を残すとなったときに、空き部屋を有効活用するということも含めて、幼稚園で3歳保育はできないのでしょうか。

(事務局山川) 3歳保育につきましては、学校教育審議会において、3歳保育に関する意見は頂戴しておりまして、なお、慎重な検討が必要である旨の答申をいただいております。

また、子育て未来応援プラン「あしや」という子育てに関する事業計画におきましても、3歳の教育ニーズについては、認定こども園で対応していくこととしており、今回のあり方で市立の認定こども園が2園、私立については4園が整備されますので、今の時点では、宮川幼稚園で3年保育を実施しますとのお答えには至らないという状況です。まずは、今回、複数の認定こども園を整備させていただきますので、それを以て、市内のお子様がどのような動きをされるのか、どの就学前施設をお選びになるのか、状況を把握した上で、なお必要があると判断した場合は、改めて検討していくということになるかと思えます。

(保護者) ありがとうございます。

(事務局岸田) 本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

2月に、市立幼稚園、保育所の大きな見直しについて、この場でも御説明させていただいたところです。当初は、宮川幼稚園につきましては、西蔵町にできます認定こども園に行っていただくことになりまして申し上げておりましたが、この7月になりまして、そのお話がなくなって、今の宮川幼稚園の状態でも今後も続けさせていただくということになった、簡単に申し上げますとそういうことでございます。

(保護者) おはようございます。

伊勢幼稚園と新浜保育所の統合で出来る認定こども園の開園の時期は当初の予定と変わらないのでしょうか。

(事務局岸田) はい、変更はございません。平成33年4月を予定しております。

(保護者) 下の子どもことになるのですが、年少は宮川幼稚園に通って、年長で西蔵の認定こども園に転園することはできるのでしょうか。現在、保育園

の一時預かりを利用していますが、4歳児では、まず宮川幼稚園に入園して、5歳児は、開園する西蔵の認定こども園の保育所部を申し込んで、入園できれば、そこへ行かせたいと思っています。

(事務局伊藤) 保育所部にお申し込みいただくことは可能です。現在、入所については、点数制になっていますので、その点数に応じてご入所できるかどうかになってくるかと思えます。

ただし、定員に空きがあったらということになります。新浜保育所に通っていたお子様が西蔵に移ってまいりますので、少々厳しい状況が予想されますが、お申し込みはできます。

(保護者) はい、わかりました。ありがとうございます。

(教育長) 2月の説明会の時は、このあり方について、期待していただいた保護者の方もいらっしゃれば、いやいや、宮川幼稚園にはたくさん子どもたちが来ているのだから、今ここで統合しなくてもいいのではないかという思いの方もいらっしゃったのも事実です。そうした中で、今回の一部見直しを公表させていただきました。

教育行政に携わる者として思うのは、これから社会が大きく変動する中において、20年後、30年後の先に、あのとき、ああしておけばよかったということは、それは結果的に言えることはたくさんあると思いますが、こうしたプロセスの中において、納得解というものを求めて進めていきたいとおもっています。たくさん子どもが在園している宮川幼稚園において、西蔵の認定こども園での受け入れが難しくなったのであれば、やはり宮川幼稚園は幼稚園として、その使命を果たしていくべきとの思いで、今回、説明させていただきました。

3歳保育を実施してほしいとのご意見も頂戴しておりますが、先ほど、担当からもお答えしましたとおり、今この時期おきましては、踏み切れない状況であります。そのことだけは御理解いただきたいと思えます。

今回のあり方のことに限らず、たとえば、自転車の送り迎えなどは、皆様のご要望を受けて、子どもたちの安全を担保しながら少しでも保護者の皆様が登園しやすい形にしたいということで決定したものですので、こうしたご意見もまたお寄せください。子どもたちにとって、安全、安心である幼稚園づくりを皆様と一緒にやって取り組んでいきたいと思っています。

(事務局山川) そういたしましたら、本日の説明会は、これにて終了とさせていただきます。お集まりいただきまして、ありがとうございました。